政策ジャーナ ourna



皆様のご意見を議会で取り上げました。

も意に続現バ 来の取経初て多りち当 見つき出スー 方て多りち当でいく組ま選 に現をい取来の方 新に参てりてよでいく組また向考は組いうコまがんした。 か けに、 むなに、 ミす現でたった。 ら 3 皆べい 提 努 案力今様き 期 まニ 課引だテ する 後と 12 題 実 現政 年

Vol.100 行 動 派

2019 ISSUE of KOMATSUZAKI FUMIYOSHI

~千葉市議会議長として約2年の任期をまもなく終えます~

ただ議長を名誉的に務めるのではなく、具体的に千葉市の役に立つべく目的意識を持ち、努めて参りました。 東日本大震災時の宮城県と仙台市間判断の戸惑いにより、仮設住宅建設が遅れました。この数年来全国政令市市 長会・議長会が要望し、県の判断を待たずに政令市の判断で仮設住宅を手掛けることが出来るようになりまた。 また千葉市の債務は約1兆円ですが、実際の返済は約6千億円で、返済も約4千億円の交付税措置の制度を再確 認しました。悲観はしすぎず、引き続き無駄遣いのない財政運営が必要と痛感しています。

4年間で地元の皆様・同僚議員の協力で実現した政策(公約)に対する実績・取り組みの一部をご紹介致します。

1、安心・安全に暮らせる街づくり(防災・防犯対策)

地域コミュニティー支援による防災・防犯強化

- ・自治会、故中本貞夫元市議要望から 27年、山王交番の設置が実現 (阿部こう一県議・地元皆様のご尽力で県内7年ぶりに設置)
- 自治会防犯カメラ設置補助制度の創設と稲毛駅前に防犯カメラの設置
- ・災害停電時にも使用可能な**マンホールトイレの増設**(来年度あやめ台小・小中台南小) (4年前35校→本年度末81校に設置。井戸から遠い場所にもプールを活用して設置) *稲毛区では稲丘・草野・園生・緑町・千草台東・稲毛・小中台小・轟町中に設置

過去の例に学ぶ元禄地震について マグニチュードは7.9-8.2と推定

津波の被害状況:元禄16年11月23日(1703年12月31日)午前2時ごろ					
地 域	熱海	鎌倉	三浦半島	九十九里浜	稲 毛
推定波高	7m	15-17m	6-11m	5-6m	3-4m

住宅建替え・耐震化、災害時避難場所確保、冠水対策の強化

- ・管理の悪い空き家を市民が**改善要望**(市に) → 助言(約 1~2 ケ月) → 指導(約 3 ケ月) → 勧告(ここで改善しないと<mark>固定資産の減額の解除≠4.6倍</mark>)となり、罰則が創設
- ・美浜区で 5 階建てエレベーターの無い団地(若潮ハイツ)建て替えが成立。残地売却で 入居者負担減とバリアフリーが実現。当選以来取り組み続けた中高層団地建替えに、 高度地区制限からの建て替え事業除外が今回役立った。

今後の課題(議会で提案)・・・・・

- ・自治会未加入者へ**加入要請強化**(防犯街灯等負担考慮と、災害時対応迅速化の為)
- ・LPガス発電機を活用、避難所での発電体制整備(ガソリンは災害時入手困難)
- ・災害マニュアルの簡易版の用意(多すぎても機能しない、理解し易く)

*実際津波は歴史上、左 表が東京湾で最悪。

冠水の可能性はある が、海岸線での引き波被 害の可能性は低い。家屋 倒壊・火災等に重点を置 き備えるべき。



~LP ガス発電機~ 取扱いの規制緩和も必 要だが、災害時復旧も 早く追加補給用 LP ガ スタンクの入手が千葉 市では容易なので普及 させるべき。

2、健やかな子ども達を育てる環境育成 (教育・少子化対策)

少子化対策拡充・日本の心と伝統を守り教育環境の充実

- <mark>・エアコンの設置と夏休みの前倒し</mark>が決定
- *2020年夏前に整備完了。約93億円の事業費。子供達の安全に鑑み、全校集会も高温時は放送のみにすべき!!
- ・老朽化した保育所の民営化による定員増で待機児童緩和と市費縮減(寒川、緑町、大森保育園が建て替え)
- ・学童保育の拡充(稲毛区では4年間で高学年9校設置、増設2校、校内移転3校、487人分の定員増) H31.4月整備予定 都賀小学校高学年、宮野木小学校(校外から校内へ移転)、小中台南小学校高学年 ・小中学校の対外部侵入者用防犯カメラを10校で増設(稲毛区では緑町、轟、柏台、小中台南小学校に設置)

今後の課題(議会で提案)・

- <mark>・学童保育の充実</mark> 3か年で48か所・1,440人分の受入枠拡大
- 1、補助制度拡充、民間事業者の参入促進 400人 2、施設整備 540人
- 3、民間事業者へ委託、放課後子ども教室との一体型事業への移行(指導員の充当)500人
- 4、高学年室の充実 5、夏休み活用(空きが多い)



アクションプランによる対策後

H33.4月の待機児童数(推計) 低学年: 全 体: 1,564人 H33.4月の待機児童数(推計) 低学年: 13人 全 体: 358人



共に政策を実現!!

*千葉市いじめ防止基本方針は策定したが、更なる対策の拡充(発見した教員を好評価、対応は 全職員・家庭で行い。いじめ自体の呼称も重大事態の場合は卑怯行為等に変更すべき)が必要。

来る限り 害や突然 の準 0 事象に想定外 ダ を無くす事 の 化に努め は 不可 能 ます。

想

千葉市議会議員(稲毛区選出) 小松崎ふみよし・政策ジャーナル Journal Vol.100

この4年間で地元の皆様・同僚議員の協力で実現した政策(公約)に対する実績・取り組みの一部をご紹介致します。

3、ひとやにさしい街づくり (財政対策で福祉充実)....

医療・福祉・保健サービス充実と心身のバリアフリー化

- ・ことぶき大学(介護予防に有効)が廃止の方向でしたが、ボランティア大学校として存続
- ・父子家庭支援 H22 年の児童扶養手当対象化を皮切りに、H27 高卒認定試験合格、H30 養育費相談が支援対象化
- ・議員としてはまだコミュニティーバス実現に至っていませんが、移動販売車の誘致と 地区社協部会長として高齢者施設のバスを活用し買い物支援を実施
- ・受動喫煙対策として飲食店(従業員無しや風俗営業店を除く)での全面禁煙が決定。一方で駅前等は歩き たばこも取り締まりきれず。人の動線から外れた煙の漏れない、喫煙室は受動喫煙防止には必要では…
- ・かさばる剪定枝リサイクルの社会実験実現

今後の課題(議会等で提案)・・・

- ・現在高速道路 IC (千葉北、武石、大宮等) から 500mに中小企業の本社や建物の建築が可能、約 1200m迄可能にすべき
- ・千葉商工会議所も民間バス事業者への行政の支援を提言、乗り換え分だけでも補助制度を
- ・自治会加入の促進「自らが居住する地域の自治会に加入するものとする。」等の規定化を要望
- ・既存集落で40戸連たん条項を緩和し、住宅の再建築認定拡大で不適格空き家対策
- ・京成バス宮野木団地バス停脇駐輪場は乱雑。駅付近だけではなく拠点的バスターミナルには 違法駐輪車両整理(撤去)のため公的駐輪場が必要
- ・稲毛区には、文化ホールがない。コミュニティーセンターのホール機能(音響等)向上を



幅員及び軒数

最少幅員が 2.7m 以上

上記以外

最少幅員が 2.7m 以上で

沿道の家屋が5軒以上

助成率

9割

8割

8割

6割

<改定後の助成率>

私道の状況

通り抜け道路

行き止り道路

4、生活しやすいインフラの整備 (交通・インフラ対策)・・・・・・・

交差点や歩道の整備による渋滞の緩和と通行の安全確保、バス路線への支援

- ・平成28年4月1日から<mark>私道舗装助成率がアップ改定</mark>
- ・(仮)千葉西インター(千葉西警察署前)設置を千葉市が国に要望
- · 土木事務所予算復元(約 18 億 5 千万円、最低時 12 億円程度) 平成21年頃の規模になり、かなり改善されます
- ・遠近五差路を雪印との換地(換地はゼロ予算)により歩道 設置、31 年度末には交差点改良も完了予定
- ・園生町 111 号線に歩行者・車両待避所整備

(ワンズモール国道 16 号線反対側の狭隘道路)、**国道 16 号歩道橋**、ヴィルフォーレ前 ガソリンスタンドの撤去

改定内容

<現行の助成率>

通り抜け道路

行き止り道路

私道の状況 助成率

8 割

6割

・山王町・東寺山線交差点改良・拡幅用地取得

(千歳工業・サンアルミニウム・日東紡の残地、来春から一部仮供用) 取得が遅れていましたが、歩道部分の一部を、 大型車・バスのすれ違いが可能に。**六方・山王町の生活道を通る自動車が減少**します。

・山王小の校庭に学校貯留池設置(地元はもっと大きな容積を要望していたが…)

今後の課題(議会等で提案)・・・・

- ・ 千葉信用金庫作草部支店付近の作草部 1 丁目交差点の渋滞が悪化。 交差点改良が必要
- ・稲毛小学校下流の草野水路の水流円滑化工事は完了、しかし大潮満潮時にゲリラ 豪雨でまた冠水するなら更に新たなバイパス水路が必要ではないか…
- ・稲毛中・幼稚園下のがけ対策、昨今マンション新築計画もあり早急な対応が急務
- ・磯辺茂呂町線用地のうち、園生町 111 号線の歩行者の安全確保に役立つ道路整備
- ・遠近五差路、今回の整備で千葉北インターから四街道方面はほぼ渋滞解消、四街道市に働きかけ、志津方面への整備
- ・<mark>長沼陸橋交差点</mark>は県道 66 号線の渋滞の最大要因、規制はあるが拡幅に向けて市は柔軟な姿勢で対応を
- ・水道事業は将来的に千葉市と市原市だけが取り残される、阿部県議、市原市の議員と粘り強く県に改善を要望
- ・高速バス稲毛駅から成田空港線が開設、一方で東京駅付近には関東各地からの高速バス路線が増加。なるべく東京駅付近にバスは停め ないようにとの指導が出ており、存続に懸念有り。市内高速バス路線の保持努力が必要
- ・小深町付近冠水対策に貯留施設整備と橋梁下の水路、水流の円滑化対策が決定

小松崎ふみよし・プロフィール

昭和45年(1970)4月30日生まれ 稲毛幼稚園卒業(現在,評議員) 千葉市立山王小学校卒業 千葉市立犢橋中学校卒業 千葉県立千葉北高等学校卒業 (現在 同窓会副会長) 法政大学法学部法律学科卒業 (現在校友会千葉中央支部常任幹事)

衆議院議員うすい日出男秘書 10年 公設第一秘書、事務所責任者を歴任 千葉市議会議員(稲毛区選出)3期当選 (6,813票でトップ当選)

千葉市議会議長 自民党千葉市青年局

関東市議会議長会 監事

千葉市社会福祉協議会山王地区部会長

37 地区自治会連顧問(山王中地区) 千葉市少年軟式野球協会顧問 稲毛区少年軟式野球連盟顧問 千葉市アーチェリー協会会長 県美容業組合千葉支部顧問 千葉市早朝野球連盟副会長 千葉市ソフトボール協会顧問 千葉市総武リーグ顧問 社会福祉法人愛の園評議員

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町 112-1 電話:043-424-0001 FAX:043-421-6667 E-mail:info@2344.jp HP URL: 2344.jp

開設時間【水·金】13:30-16:00 (年末年始・GW・8月を除きます、 不在時は小松崎本人の携帯に転送) お問合わせ・ご意見お待ちしております。

